

## 一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則62条第2項の規定により通告します

2020年5月28日

議席番号

25番

東村山市議会議長 あて

質 問 者 さとう直子

### 記

#### 1. コロナ禍における就学援助の対応について

生活保護基準の見直しにより特に生活扶助費と子どものいる世帯の扶助や加算が変更になり、就学援助の収入基準は生活保護基準がもとになっていることから、子育て世帯に大きな影響が出ている。さらにコロナウイルス感染拡大のため保護者の失業や収入の大幅減により小中学校児童生徒を持つ世帯により顕著に表れていると市民の方からの聞き取り等を通じて感じる。市民生活に寄り添った施策を講じて頂くよう以下質問します。

#### 1) コロナ感染拡大をうけての就学援助の対応

- ① コロナ感染症の拡大を受けて就学援助の受給要件と申請方法や期間など変更内容を伺う。また、どのように周知したのかについても併せて伺う。
- ② 文科省の通知では「コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変し年度の途中で認定を必要とするものについては、速やかに認定し、必要な援助を行うこと」としています。当市の対応はどのようになっているか伺う。
- ③ 2020年度の申請の受付件数は5月末時点で何件か、昨年と比べてどうか伺う。
- ④ 3月に一斉休校が始まり、2019年度に就学援助を受けていた世帯に3月分の給食費は支給されないとのことだが、立川市や柏市では給食が実施されていなくても給食費は支給されている。当市は支給を検討したのか伺う。
- ⑤ 休校期間中、就学援助を受けている児童・生徒に昼食代1食500円を支給する自治体もあるがせめて、就学援助の給食費分を給食が提供されたとみなして支給することなどは検討したのか伺う。
- ⑥ 世田谷区では「全費目認定」と「給食費のみ認定」と支給対象基準を分けて門戸を広げて就学援助を行っているが当市でそのような検討はしたのか伺う。
- ⑦ 就学援助はいつ支給されるのか、項目ごとに伺う。必要な時期に、必要な援助を行うため、毎月支給が望ましいと考えるが変更を検討したのか伺う。

## 2. 「子どもは宝の精神」で、教育格差を生まない政策を

今回のコロナウイルス感染症に関連し、学校の休校、保育園の登園自粛等の補償を行うべきと求めてきた。コロナウイルス感染拡大による子育て世帯の負担は大変重いものとなり、貧困格差の拡大につながっている。ひとり親家庭においては、それがさらに顕著になっている。教育格差のない「子育てするなら東村山」というスローガンにふさわしい東村山にするために以下質問します。

### 1) 市の独自支給等の施策について

- ① 子育て世帯への臨時特別給付金に、自治体独自の上乗せをする自治体が数多くみられる。

例1：丸亀市：児童手当＋4万、更にひとり親世帯に5万、瀬戸内市：児童手当＋3万

例2：ひとり親世帯に3万円⇒宮古市・陸前高田市・二戸市・大船渡市・大野市・草津市

その他例：観音寺市⇒児童手当＋2万、ひとり親世帯に1万など、多数の自治体が1万円上乗せ

当市は子育て世帯への上乗せ給付を検討したのか伺う。

- ② 当市で児童手当に1万円上乗せしたらいくらかかるか、対象児童数も併せて伺う。
- ③ 特にひとり親世帯の相対的貧困率が高いため、上乗せ支給が必要と考えるが、ひとり親世帯に1万円上乗せしたらいくらかかるか、対象世帯数及び児童数を併せて伺う。
- ④ 特別定額給付金の基準日4/27以降に生まれた子どもにも10万円支給する自治体があるが当市で支給を検討はしたのか。支給したらいくらかかるか併せて伺う。  
例1（2020年度中に出生）：大府市（愛知県）・浅口市（岡山県）  
例2（2020年12月末までに出生）：富士見市・ふじみ野市（埼玉県）
- ⑤ 今までの質問を踏まえて市長の考える「子育てするなら東村山」にふさわしい支援とはどのようなものか  
伺う。